

日本映画放送株式会社 第79番組審議会議事録

1. 開催年月日:令和3年11月16日(火)16時

2. 開催方式:対面での実開催およびweb会議ツールを用いて実施。

3. 委員(順不同・敬称略)

出席:菊地 実・田保橋 淳・鈴木 嘉一・尾形 敏朗・
砂川 浩慶・鳥居 美砂・宮崎 美紀子
web会議ツールにて出席:神田 由築・西 正・山川 鉄郎

放送事業者:代表取締役社長 石原 隆 常務執行役員 金田 耕司
執行役員 佐藤 信彦
執行役員編成制作局長 宮川 朋之 編成部部長 小川 英洋
制作部長 秋永 全徳 編成部 三瓶 祐毅
編成部 三品 貴志
番審担当 澤 尚志 後藤 健(記)

4. 議題

- (1) 審議事項:時代劇専門チャンネル「三屋清左衛門残日録 陽のあたる道」
(2) 報告事項:日本映画専門チャンネル「【森田芳光 70 祭】監督・森田芳光特集」

5. 議題(1)

藤沢周平の傑作長編小説を原作に、老境の人間模様を温かな視点で描くオリジナル時代劇シリーズ「三屋清左衛門残日録」。BSフジとの共同出資による3作、そして時代劇パートナーズと共に制作した第4作は好評を博しました。シリーズ5作目となる「陽のあたる道」は、ケーブルテレビ最大手のJ:COMを制作委員会に加え、藤沢作品の中でもハードボイルドな傑作短編「闇討ち」と「三屋清左衛門残日録」の世界を融合させました。9月20日に「日本映画+時代劇4K」で4Kにて初回放送し、2022年1月3日に「時代劇専門チャンネル」と日本映画専門チャンネルで2Kダウンコンバートでの同時放送を予定しています。今回の番組審議会では、「三屋清左衛門残日録 陽のあたる道」について、以下のポイントを中心に審議いただきました。

【審議のポイント】

「三屋清左衛門残日録」シリーズ5作目となる「三屋清左衛門残日伝」をご覧いただいた感想、忌憚なきご意見を聞かせください。

6. 議題(1)審議内容 ※文中敬称略

- ・藤沢周平先生の才能を見せてくれた番組で、感動したに尽きる。
- ・ちょっとしたことが人生の甘味になるという藤沢文学で繰り返し描かれるテーマが表現されている。

- ・シリーズの持ち味である「いつの時代も変わらぬ家族の情愛」は、世代を超え若年層にも共感が得られる。
- ・9月20日の初放送以外は4Kをダウンコンバートして2Kで放送するそうだが、4Kの普及のためにも、もっと4K放送を前面に押し出していくべきではないだろうか。
- ・各局が苦勞して4Kコンテンツを制作している中、日本映画プラス時代劇4Kチャンネルが4Kコンテンツを4Kで初放送した試みに敬意を表したい。
- ・三屋に孫が生まれ、息子夫婦と家族の団らんが描かれるシーンは一見するとどうということのないシーンに見えるが、嫁役の優香が不在だった前回の思い出すと何気ないシーンにとっても意味があるのだと思った。
- ・演技と自然の撮影は4Kの高画質にふさわしいものと思った一方で、これまでの撮影では気にならなかったセットや道具類に、違和感があつたのも事実だ。
- ・海辺のお葬式のシーンはドローンをうまく利用していると感じた。山下監督が4Kを意識して撮られていて、非常に絵が決まっている。
- ・新たに時代劇ファンを開拓するには、YouTubeの専門チャンネルで時代劇を短い時間での見方を伝えるなど、ガラリと発想を変えた取り組みが必要だと思う。
- ・過去作は「三屋清左衛門残日録」からの映像化だったが、今作は残日録「ならず者」と短編「闇討ち」を絡めたからか、半田守右衛門が起こした収賄事件の話が薄く感じた。

これに対して弊社からの回答は以下の通りであった。

- ・キャラクターを同一にするなどの改編はしたが、2つの原作の持ち味を最大限に生かしたと考えている。
- ・4Kならではの美しい映像になったと自負しているが、セットでの撮影はフィルム時代のものを使用したのも、高画質では荒さが目立ったのも事実。
- ・各委員からの意見は違った視点からの考えで新鮮だったが、時代劇のターゲットについては、若者にも観てほしいが、そうすると本来のファンが逃げるのではと心配や葛藤もある。
- ・一朝一夕にできることではないが、社内で4Kへの意識を共有して今後の番組作りに生かしたい。

6. 議題(2) 報告事項

日本映画専門チャンネル「【森田芳光70祭】監督・森田芳光特集」

森田芳光監督生誕70周年と没後10周年の一環として、東映チャンネル、映画・チャンネルNECO、衛星劇場との4局共同で、デビュー作から遺作まで、全18作を2ヶ月かけて放送した。目玉は10月に4K監督テレビ初放送となった『家族ゲーム』〈デジタルリマスター版〉。画質の鮮明さ、音のクリアさがSNSで評判になった。11月5日に東京国際映画祭で4Kデジタルリマスター版を上映したが、会場のTOHOシネマズシャンテは完売で、上映中に笑い声が起きていた。上映後に行われたトークイベントでは、出演者の由紀さおり、宮川一朗太、伊藤克信に当時の撮影エピソードを語っていただいた。その模様は11月21日に映画専門チャンネル「日曜邦画劇場」本編後に放送予定。

7. 連絡事項

次回番組審議委員会は、2022年2月15日(火)15時より開催予定。